

役員会議事録

(平成 22 年 3 月 25 日)

出席者 (敬称略、順不同)

森川 昭廣、山中 英壽、西松 輝高、岡田 恭典、白倉 賢二、荒川 浩一、織内 昇、齋藤 繁、饗場 庄一、本多 忠衛、長嶋起久雄、木谷 泰治、成田 忠雄、根本 俊和、猿木 和久、大竹 誼長

報告事項

1. 法人のその後の活動について

山中理事長から、本日開催された第 81 回理事会、第 24 回評議員会の議事について、次のとおり報告があった。

第 1 号議案 平成 22 年度事業計画案について

地域の保健・医療・福祉の向上のための助成金事業及び国際交流への支援事業の新設を含めて承認された。

次に、新制度への移行を考慮し、財団事務体制の整備について承認された。

第 2 号議案 平成 22 年度収支予算案について

原案どおり承認された。

2. 医学部代表者と新任教授との懇談会について

森川会長から、2 月 26 日(金)石井ホールにて開催された懇談会に、学長、副学長、医学部長、同窓会から 6 名の参加があり、盛会に開催された旨報告があった。

3. 退任教授記念送別会について

森川会長から、3 月 4 日(木)マーキュリーホテルにて、退任される飯野教授、小濱教授の記念送別会が 85 名の参加により盛大に開催された旨報告があった。

4. 東京支部総会について

3 月 13 日(土)渋谷エクセル東急ホテルにて開催された支部総会に出席した森川会長、岡田幹事長、大竹前橋支部長から活発な情報交換ができたこと、及び盛大な会であった旨報告があった。

5. 桐生支部会について

森川会長から、3 月 23 日(火)桐生プリオパレスにて開催の支部会は、30 名の出席があり、盛会であった旨報告があった。

6. 学位記授与式及び医学科卒業謝恩会について

森川会長から、3 月 24 日(水)県民会館にて行われた学位記授与式に同窓会長として出席したこと及び同日前橋テルサにおいて開催された謝恩会で 6 名の卒業生に卒業時表彰を行った旨報告があった。

7. 平成 22 年度新入生歓迎行事について

岡田幹事長から、前回の役員会で了承された新入生オリエンテーションを開催するにあたり、先生方の出席要請があった。

開催日時：4 月 10 日(土)10 時～ 場所：医学部 刀城会館

8. その他

岡田幹事長から、会員の逝去について報告があった。

前橋市下細井町 415-6	栗原 又雄 元事務長 (特)	平成 22 年 2 月 24 日逝去
世田谷区深沢 6-30-13	雨宮 修二先生 (昭 25 卒)	平成 22 年 2 月 23 日逝去
高崎市赤坂町 88-3	小川 嘉和先生 (昭 25 卒)	平成 20 年 1 月 21 日逝去
前橋市住吉町 1-3-6	後藤 鹿島先生 (昭 24 卒)	平成 22 年 3 月 3 日逝去
前橋市千代田町 1-1-9	松山 四郎先生 (昭 30 卒)	平成 22 年 2 月 17 日逝去
三原市糸崎町 5613-3	武井 朗夫先生 (昭 44 卒)	平成 22 年 3 月 10 日逝去

協議事項

1. 同窓会事務室の体制について

森川会長から、(財)群馬健康医学振興会が新制度法人への移行に向けて、事務体制の整備(平成22年度から財団業務専門の時間給職員の配置)について、本日開催の第81回理事会、第24回評議員会において承認されたことに伴い、同窓会の事務体制の整備について次のとおり提案があり、審議の結果、承認された。

- 1) 財団に時間給職員が配置されることにより、財団業務と同窓会業務の明確化を図るとともに、財団の人件費負担率を削減する。
- 2) 財団時間給職員同様に同窓会事務員を時間給職員に切り替え、同窓会雇いとする。
- 3) 同窓会(財団)事務長は、同窓会経理と財団経理の責任的立場にあるため、財団負担を10%とする。(従来財団の人件費負担は30%)
- 4) 同窓会事務体制の整備により、人件費が年間30万円程度抑制となる。

2. 北関東医学会・同窓会推薦講演について

岡田幹事長から、10月7日(木)、8日(金)開催予定の北関東医学会総会における同窓会推薦講演候補者について提案があり、審議の結果、承認された。

病態総合外科学 浅尾 高行先生(昭58卒)
神経内科学 山崎 恒夫先生(昭58卒)

3. その他

1) 同窓会総会・教授の会について

森川会長から、本年は同窓会総会当日に教授の会を開催すること及び今回の教授の会には全国の教授に加えて、群馬大学医学部・附属病院・生体調節研究所においては特別会員と准教授にも参加依頼することについて提案があり、審議の結果、承認された。

開催日：10月9日(土) 15時30分～(予定)

2) 財団発行の書籍「重粒子線 切らずに治すがん治療と医療最前線」の配布案について提案があり、了承された。

発行部数 5,000冊(4月6日納入予定)

頒布 献本 1,000冊

(献本先：著者、財団理事・評議員、同窓会役員、文部科学省、群馬大学経営協議会委員、事務局、重粒子線照射施設、昭和地区教職員、県・市医師会、県内関連病院他)

販売 1,000冊(上毛新聞社を通して定価2,000円)

2,000冊(会報により会員価格1,500円)

1,000冊(近隣病院の売店)

次回役員会開催日：4月21日(水)午後7時～

場 所：医学部 刀城会館